

公立小中学校の木質化事例

学校名		神川町立神川中学校
木質化の実施方法		平成24年度・平成25年度学校施設環境改善交付金 (危険改築)
所在地		〒367-0232 神川町大字新里450番地
児童生徒数		387名(平成26年5月1日時点)
施設 の 概 要	建物区分	校舎(特別教室棟)
	規模(構造・階数・延床面積)	鉄筋コンクリート造2階建て 1,619㎡
	施設の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・使用している木材の概要(使用樹種や部材) 内装壁天井仕上: 不燃処理加工をした神川産杉材 フローリング: 神川産を含む埼玉県産杉材圧密加工、 外壁打放しコンクリートへの神川産杉材型枠の使用 ・環境教育等への活用 季節により通風と採暖ができる「風の塔」、 やわらかな自然光が入る屋根、 冷暖房の補助効果としての地熱利用、 太陽光発電パネルの設置など自然エネルギーの利用 ・活用した財源や支援制度 学校施設環境改善交付金(危険改築) 地方債 ・設置者や利用者の声 神川町の子供たちがのびのび育つ学び舎、 学校・親・地域が子供を見守り、触れ合い、交流する 「共育のためのひろば」となるよう、 神川産の杉材をふんだんに使い、内部には生徒の学習、 生徒間や地域との交流を育む場として 吹抜けの「図書のにわ」を設け、 外部には生徒たちが集い、 活動発表のステージにもなるよう、 デッキ材を張った屋外の「外のにわ」を設けました。
工事 の 概 要	設計・工事期間	基本・実施設計: 平成24年9月～平成25年 3月 工 事: 平成25年6月～平成26年10月
	工事費	工事費(建築・電気・設備) 582,750千円
	木材使用量	23㎡(杉板型枠9.56㎡は除外)

施設の概要（写真）



写真① 改築特別教室棟外観南側
改築工事により平成26年11月に竣工。
外壁一部 神川産杉板型枠打放コンクリート仕上げ

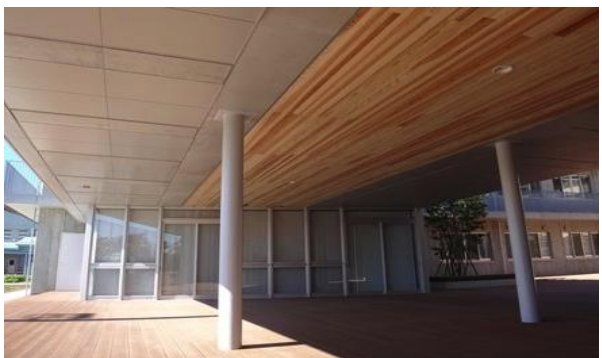
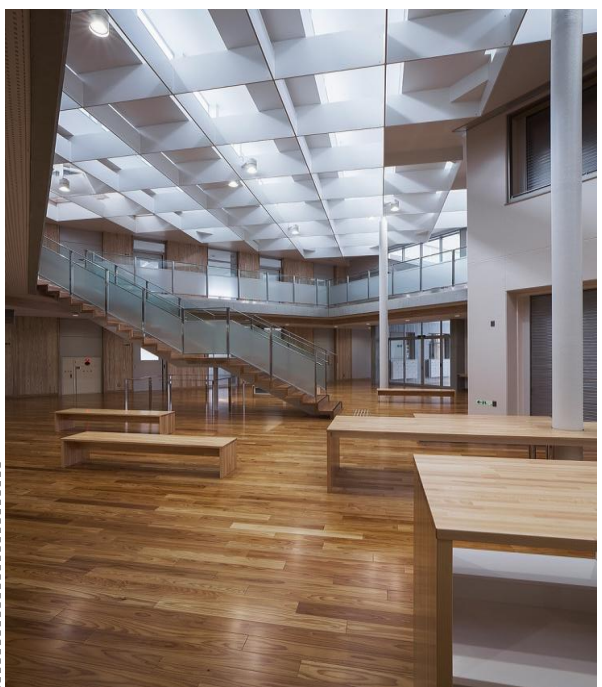


写真② 2階 美術室（教室南側から撮影）
内装壁 不燃処理加工杉板張り（神川町産材使用）
内装床 フローリング 圧密加工（神川町産杉板使用）



写真③ 外のにわ（パティオ部デッキ）
耐久性の高い人工木材を使用し、木の温かみを感じさせるオープンスペースとしての活用

写真④
図書のにわ（多目的スペース）
生徒教師間などの交流や
図書スペースとしての活用
内装壁 不燃処理加工杉板張り（神川町産材使用）
内装床 フローリング 圧密加工（神川町産杉板使用）



写真⑤ ティーチーズラウンジ及びブリッジ下
校舎→パティオ→校庭につながる通路。
化粧天井 不燃処理加工杉板張り（神川町産材使用）



写真⑥ 旧特別教室棟（外観）
昭和40年9月竣工し、平成25年8月にⅠ期解体、
平成26年7月にⅡ期解体 鉄筋コンクリート造